



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字 フォトニュース

世界の「苦しんでいる人」を救うために

赤十字のネットワークは世界190の国と地域に広がっており、各国では職員、ボランティア、青少年が共通の原則を基に赤十字の人道事業に参画しています。このネットワークを用いて、日本赤十字社は救援から復興、そして長期的な人道ニーズへの対応と切れ目のない支援を続けています。

自然災害



©Cruz Roja Ecuatoriana

イタリア中部地震

平成28年8月24日、イタリア中部を震源とするマグニチュード6.2の地震が発生。イタリア赤十字からは300人以上のスタッフとボランティアが出動して救助活動や応急救護、医療活動、こころのケアを行っています。

エクアドル地震

2016年4月16日、エクアドル北部の沿岸部を震源地とするマグニチュード7.8の地震が発生。現在もなお、被災者に寄り添った支援を続けています。



©Italian Red Cross

フィリピン中部台風

日赤は災害に強い地域づくりを目指して、今もなお住民とともに復興に向けた取り組みを進めています。



©Ichigo Sugawara



ネパール地震

日赤の支援により地域の仮設診療所が完成。今後も震災の被害を受けた14の村々の仮設診療所を再建していくため、ネパール赤十字社と協力しながら事業を行っていきます。

復興

紛争

シリア紛争

武力衝突が6年目に入ったシリア。世界で家を追われている人は、第二次世界大戦以後最大の6,530万人。日本赤十字社は、難民を受け入れているシリア周辺諸国や、武力衝突の続く中東諸国でも支援をしています。



◀ギリシャ北部ヘルソーの難民キャンプでテント生活を余儀なくされている子どもたち

▶ギリシャ北部ネオカバラの難民キャンプでシリア難民の患者を診る日赤の医師



©Finnish Red Cross

中東地域紛争犠牲者支援事業で名古屋第二赤十字病院から医師を現地に派遣しています。



©ベルギー赤十字社

◀ギリシャに漂着した難民を介助する赤十字ボランティア



▲ギリシャ共和国で犠牲者支援を行う吉見医師(左)と久田医師(右)

NHK海外たすけあい

平成28年12月1日~25日

今年で34回目を迎える「NHK海外たすけあい」は、日本赤十字社とNHKとの共催による募金キャンペーンです。この募金活動で集められた寄付金は、全額が日赤が行う国際救援・開発協力事業の財源に充てられ、これまで世界155カ国の支援に活用されてきました。愛知県支部では、毎年、街頭募金やチャリティイベントを実施し、多くの方からのご支援をいただいております。

今年も皆様からの暖かいご支援をお待ちしています。



昨年実施した街頭募金とチャリティイベントの様子



イベント情報はここから!

日本赤十字社愛知県支部
公式 Twitter



赤十字の活動資金にご協力お願いします。

国際活動、災害救護活動など赤十字の行う人道事業は皆様からの資金協力によって支えられています。皆様のご協力をお願いします。

